

プログラム名 (40字以内)	みんなで翻刻ソソ		
団体名/所属	地震研究所		
活動区分	研究室体験活動	希望する選考方法	先着順
募集人数	10人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動を行う(必要に応じてオンラインも活用する)		
参加者に求めるもの	古文書解読やアプリ開発に興味のある学生(経験・能力・学部・学科は問いません)		
活動期間	2024/8月～2024/9月の間の3日間程度(参加者と調整の上決定)	主な活動予定場所	地震研究所またはオンライン
プログラム実施の目的	市民参加型の歴史資料解読プロジェクトやアプリ開発に参画する		
具体的な内容(800字程度)	<p>「みんなで翻刻」(<a href="https://honkoku.org/">https://honkoku.org/</a>)は市民参加型のオンラインでの歴史資料翻刻プロジェクトです。2017年1月に、地震に関連する史料の解読プロジェクトとして開始しました。これまでに8000人以上の参加者を得て2000点を超える史料を解読してきました。総入力文字数は2600万文字を超えています。2019年7月には新バージョンをリリースし、世界中で公開が進むデジタルアーカイブとの連携を目指しています。ここで解読された歴史資料は、たとえば過去の地震の理解に向けた研究に活用されます。ご参加いただいた方が古文書に親しみ、その解読の楽しみを知っていただくことにもつながっています。また、AIによって古文書を解読するための題材になる可能性も秘めています。</p> <p>「みんなで翻刻」は、プロジェクト全体の名称であると同時に、JavaScript等で実装された、プロジェクトを支えるWebアプリの名称でもあります。縦書きに対応した翻刻エディタが実装されています。解読のための学習コンテンツも充実しています。翻刻文字数ランキングや掲示板など参加者のモチベーションやコミュニケーションを促進する仕掛けが施されています。IIIIFという画像の相互利用のためのプロトコルに対応しています。</p> <p>皆さんの参加により、「みんなで翻刻」の歴史資料解読プロジェクトおよびアプリとしての「みんなで翻刻」をさらに発展させていきたいと考えました。それが「みんなで翻刻ソソ」です。この企画では、(1)「みんなで翻刻」を利用して実際に古文書を解読してみる、(2)解読作業を通じてアプリの改善点を挙げてもらう、(3)アプリの改善に取り組んでもらう、などを考えています。</p> <p>古文書の解読やソフトウェアの開発の経験や能力は問いません。単に感想やアイデアを出すところから、実際に手を動かして解読・開発をすすめるところまで、個人の興味や関心に応じて幅広く取り組む1日にしたいと思います。</p>		
【総額】参加するための費用	なし		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	宿泊しません。		
【内訳】参加するための費用(交通費)	地震研究所までの交通費		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	0円		
備考	<p>古文書の解読やソフトウェアの開発の経験や能力は問いません。単に感想やアイデアを出すところから、実際に手を動かして解読・開発をすすめるところまで、個人の興味や関心に応じて幅広く取り組む活動にしたいと思います。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	なし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	みんなで翻刻 <a href="https://honkoku.org/">https://honkoku.org/</a>		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		